

第20回 環境法政策学会

Japan Association for Environmental Law and Policy

2016年6月18日(土) 三重大学(三重県津市栗真町屋町1577)

プログラム

9:30~12:00 分科会<個別報告> (報告20分、コメント5分、質疑5分、準備・休憩5分)

第一分科会 人文学部校舎1階 第1講義室

第二分科会 人文学部校舎1階 第2講義室 (報告多数のため休憩なし)

第三分科会 人文学部校舎2階 第3講義室

第四分科会 人文学部校舎2階 IT講義室 (報告多数のため休憩なし)

第五分科会 人文学部校舎3階 視聴覚教室

12:00~13:00 理事会 (人文学部校舎3階 大会議室)

13:00~13:30 会員総会 (講堂(三翠ホール) 大ホール)

シンポジウム「生物多様性と持続可能性」 (講堂(三翠ホール) 大ホール)

13:30~13:40 <挨拶> 開催校

13:40~15:50 <第1部 報告>

15:50~16:10 休憩

16:10~17:50 <第2部 パネルディスカッション>

18:00~ 懇親会 (第2食堂)

※会費 5,000円 当日お支払いください~

[注意事項とお知らせ]

- 1 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
- 2 開催校への質問等は、下記宛にお願いします。
三重大学開催校事務局 岩崎恭彦 *メール: mie_env_l@yahoo.co.jp
- 3 会員外の方とご参加される場合には、ご参加される会員外の方のお名前とご所属を事務局までご連絡ください。事務局: kankyo@shojihomu.or.jp

<環境三学会合同シンポジウム>

日時: 2016年7月24日(日) 13:00~17:40 (開場12時30分)

会場: 一橋大学 一橋講堂 中会議室 (東京都千代田区神田駿河台1-1)

テーマ: 「再生可能エネルギー政策」

※詳細は別添のパンフレット参照

環境法政策学会 第20回学術大会プログラム

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

第一分科会 地球温暖化・エネルギー〔人文学部校舎1階 第1講義室 司会者：石野耕也（中央大学）〕

- ①適応基金理事会において承認されたプロジェクトにみられる気候変動影響への脆弱性と適応便益の分析
(報告者：久保田 泉（国立環境研究所）／コメンテーター：田中 充（法政大学）)
- ②地球温暖化による損失に対するリスク移転メカニズム政策の方向
(斉藤照夫（SOMPOリスクアマネジメント）／織 朱實（上智大学）)
- ③米国大気清浄法適用の適法要件に関する判例の動向について—Michigan v. EPA 事件判決を中心として—
(苦瀬雅仁（環境省）／石野耕也（中央大学）)

第二分科会 国際法・外国法〔人文学部校舎1階 第2講義室 司会者：西井正弘（大阪女学院大学）〕

- ①原子力賠償制度の日米比較—プライスアンダーソン法を出発点として—
(吉田 朗（早稲田大学大学院）／大塚 直（早稲田大学）)
- ②国際環境法による海洋科学調査の規律と予防原則：ロンドン海洋投棄条約体制と国際捕鯨条約体制の検討を中心
(堀口健夫（上智大学）／中西優美子（一橋大学）)
- ③米国 TSCA、米国議会の上院・下院、各改正法案の内容と両者の比較、および今後の課題
(大島輝夫（化学品安全管理研究所）／赤渕芳宏（名古屋大学）)
- ④洋上掘削施設に起因する油濁事故に対する責任制度—メキシコ湾原油流出事故を踏まえたアメリカ油濁法からの示唆—
(小林 寛（信州大学）／大坂恵里（東洋大学）)
- ⑤スイスにおける原発訴訟
(奥田喜道（跡見学園女子大学）／川合敏樹（國學院大学）)

第三分科会 生物多様性・河川〔人文学部校舎2階 第3講義室 司会者：岩間 徹（西南学院大学）〕

- ①定着侵略的外来生物管理における早期対応のパラドックス—水陸両生植物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの対策に関する事例研究
(上河原献二（滋賀県立大学）／神山智美（富山大学）)
- ②国際水路衡平利用原則と重大危害防止原則(no-harm rule)との関係についての再検討—国際水路非航行的利用条約の国連国際法委員会起草過程における議論を中心として—
(鳥谷部 壤（大阪大学大学院）／岩間 徹（西南学院大学）)
- ③法の支配を通じた持続可能な国際的な流域ガバナンス—米墨におけるコロラド川の水紛争からの展望—
(松本充郎（大阪大学）／柳 憲一郎（明治大学）)
- ④生物多様性オフセットに関する制度運用上の柔軟性について—クイーンズランド州の海洋魚類生息地オフセットに関するケース・スタディー—
(舛田陽介（横浜国立大学大学院）／久保田 泉（国立環境研究所）)

第四分科会 環境訴訟・その他環境法の問題〔人文学部校舎2階 IT講義室 司会者：紙野健二（名古屋大学）〕

- ①環境紛争に対応する集団訴訟の法的規律—濫訴の防止を中心として—
(長島光一（帝京大学）／桑原勇進（上智大学）)
- ②津波災害をめぐる法的責任
(樺島博志（東北大学）／奥田進一（拓殖大学）)
- ③環境法化現象の進展と環境法領域の拡大—環境保全と産業振興の対立と克服—
(辻 信一（名古屋大学）／下村英嗣（広島修道大学）)
- ④建築の保存と活用の法学的考察
(岡崎行師（弁護士、神戸大学大学院）／日置雅晴（早稲田大学、弁護士）)
- ⑤産業廃棄物の不適正処理の要因分析～執行活動における課題を中心として～
(長谷川 裕（三重県庁）／勢一智子（西南学院大学）)

第五分科会 企画セッション「石炭火力発電所の新增設問題」〔人文学部校舎3階 視聴覚教室〕

司会者：高村ゆかり（名古屋大学）

- ①近年の石炭火力発電計画と環境行政の動向について（福嶋慶三（環境省））
- ②CO2 排出削減のための電力業界の取組み（仮）（森崎隆善（電気事業連合会 立地環境部））
- ③石炭火力発電所の新增設問題—気候変動政策との関係から（平田仁子（気候ネットワーク））
- ④石炭火力発電所の新增設問題—環境法の観点から（島村 健（神戸大学））
- ⑤若干のコメント（大塚 直（早稲田大学））
- ⑥質疑・討論

=====
シンポジウム（講堂（三翠ホール）大ホール）

「生物多様性と持続可能性」

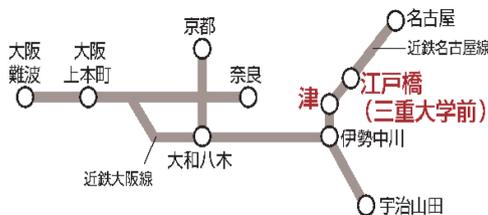
☆第1部 報告☆ 司会：島村 健（神戸大学）、勢一智子（西南学院大学）

- 13:40～14:10 総括報告：日本における生物多様性と持続可能性（野生鳥獣の保全管理、外来種対策含む） 磯崎博司（上智大学）
- 14:10～14:30 自然保護区の保全と管理 吉田正人（筑波大学）
- 14:30～14:50 ABS 国内措置 北村喜宣（上智大学）
- 14:50～15:10 海洋の生物多様性の保全 河野真理子（早稲田大学）
- 15:10～15:30 生物多様性、自然保護に関する訴訟 及川敬貴（横浜国立大学）
- 15:30～15:50 コメント 下村英嗣（広島修道大学）・高橋満彦（富山大学）
- ◆15:50～16:10 —— 休 憩（質問票回収） ——

☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：磯崎博司（上智大学）、織 朱實（上智大学）

- 16:10～17:50 パネリスト：①吉田正人（筑波大学）
- ②北村喜宣（上智大学）
- ③河野真理子（早稲田大学）
- ④及川敬貴（横浜国立大学）

<三重大学へのアクセス> (キャンパスマップは別紙)



● 近鉄電車「急行」で		江戸橋駅		三重大学
名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	徒歩	
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分	約15分	
● 近鉄電車「特急」で		津駅		
名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	バス	
大阪より	大阪難波駅	約90分	約15分	
京都より	京都駅	約110分	タクシー	
			約10分	

◆津駅から

・津駅前バスのりば「**4番**」から三交バスで、「白塚駅前」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「高田高校前」(56系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「**三重大学前**」下車。片道 220円

<津駅前バス停の時刻表>

8月13日~8月15日の間、および
土・日祝日時刻表

行先	時刻	6	7	8	9	10	11	12	13
[06] 白塚駅			2 45	15 55	55	55	55	55	55
[51] 本山前経由 三重病院			39		39		39		39
[52] 高田高校前経由 棕本		52	54	29	9	11	1	11	1
[52] 高田高校前経由 豊里ネオポリス			24	9 49	49	36	46	36	46
[52] 高田高校前経由 サイエンスシティ			39	0	29		26		26
[56] 高田高校前				20					
[53] 豊野団地経由 三行						42			22

・津駅からタクシーで約10分

◆江戸橋駅(三重大学前)から 徒歩で約15分

◆中部国際空港(セントレア)から

津エアポートラインで津なぎさまちへ40分

- ・「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
- ・「津なぎさまち」からタクシーで津駅まで約10分

